



ト
ネ
リ
コ
ア
ミ
ー
と
る
い
る
ん
ち
本

「えー…つと」

「まずはこの状況に至った
経緯を説明したいと思います…」



数分前

「といつても事前に
トネリコから…」

『魔女の夜会』

「なるものをするから
『お仕事が終わったら
私の部屋に来てください』
…とだけ言われ」

「『お茶会』とは違うのか
聞いてみたがトネリコいわく
『詳しくは言えませんが
日々頑張っているマスターさん
への特別なご褒美会…みたいな
ものです♡』
とのこと…」

「なのでいざトネリコの
部屋に赴くと…」

「そこで待つて
いたのは…」

お待ちして
おりました

マスターさん
ご主人様♡

「メイド服姿の
魔女達だった」

「そこから
あれよあれよと
いう間に」

ようこそ
『夜会』へ♡

「え」

…オラいくぞ

「今の状況に至った
のです…」

実はですね

元々この『夜会』は

バーヴァンシー
彼女からの提案
だったんですよ♡

ちょッ!?

「へ?
そうなの?」

ま…魔女様ッ
そのことは内密にとッ…

ダメですよバーヴァンシー
こういうことは直接ご本人
にお伝えしないと♡

「…ははは…いいやあ
バーヴァンシーがこんな
想ってくれて…」

このまま握り
つぶしてやっても
いいんだぞ?

「調子乗って
すいませんッ!!」

ふふふ♡

「…というかその
メイド服姿はいい…?」

ああ!
これはですね

クレインさん
制作して
いただきまして

「ああ…あの人に…
いやそもそも
なんで辞さバノて」

黒ひげの野郎に
吐か…聞いた

「なるほどね…
アイツ無事かなあ…」

んなことより
魔女様にもご協力して
もらってんだから

こっちに集中しろ

雑魚のお前の
ための『夜会』…

存分に楽しんで
イってくださいね♡

「ぐおおツ…!!
眼福すぎてすぐに
でも出ちやいそうツ…」

「メイド魔女の
ダブル
W乳首責めツ」





「……この
メイド魔女達……」

ちゅるる
ちゅるる

ちゅるる
ちゅるる

あ♡

はぁ……はぁ……
みたいです……

つかお前……
さつきよりデカく
なってるねえか……？

「エロ過ぎるッ……!!」

どうやら休憩を
挟まなくても
大丈夫そうですねッ

じゃあ

私は少し準備してきますので
先にお二人で始めちゃっててください♡

えッ!?

「了解ッ
ほらベッド行くよ
バーヴァンシーッ!」

あ!
オイ勝手に抱き
上げるなザコッ!

「と口では言いつつ
拒否はしないという……
可愛い……」

「失礼ッ！」

あッ…

破くのなら
先に言えよ…

「あごめん…
ってノーパンッ！」

…どうせヤルこと
ヤルんだから必要ねーだろ

「そんなこと言っ
てヤル気満々だっ
たんじや？」

もう十分濡れてるし

「ごちやごちや
言っ
てねーで
挿れるならとっ
と挿
れるザコッ

「照れちゃって」

「じゃあもう
辛抱たまら
んので」

「遠慮なくッ」

んッ



「頑張って気持ちよく
してあげないとねッ」

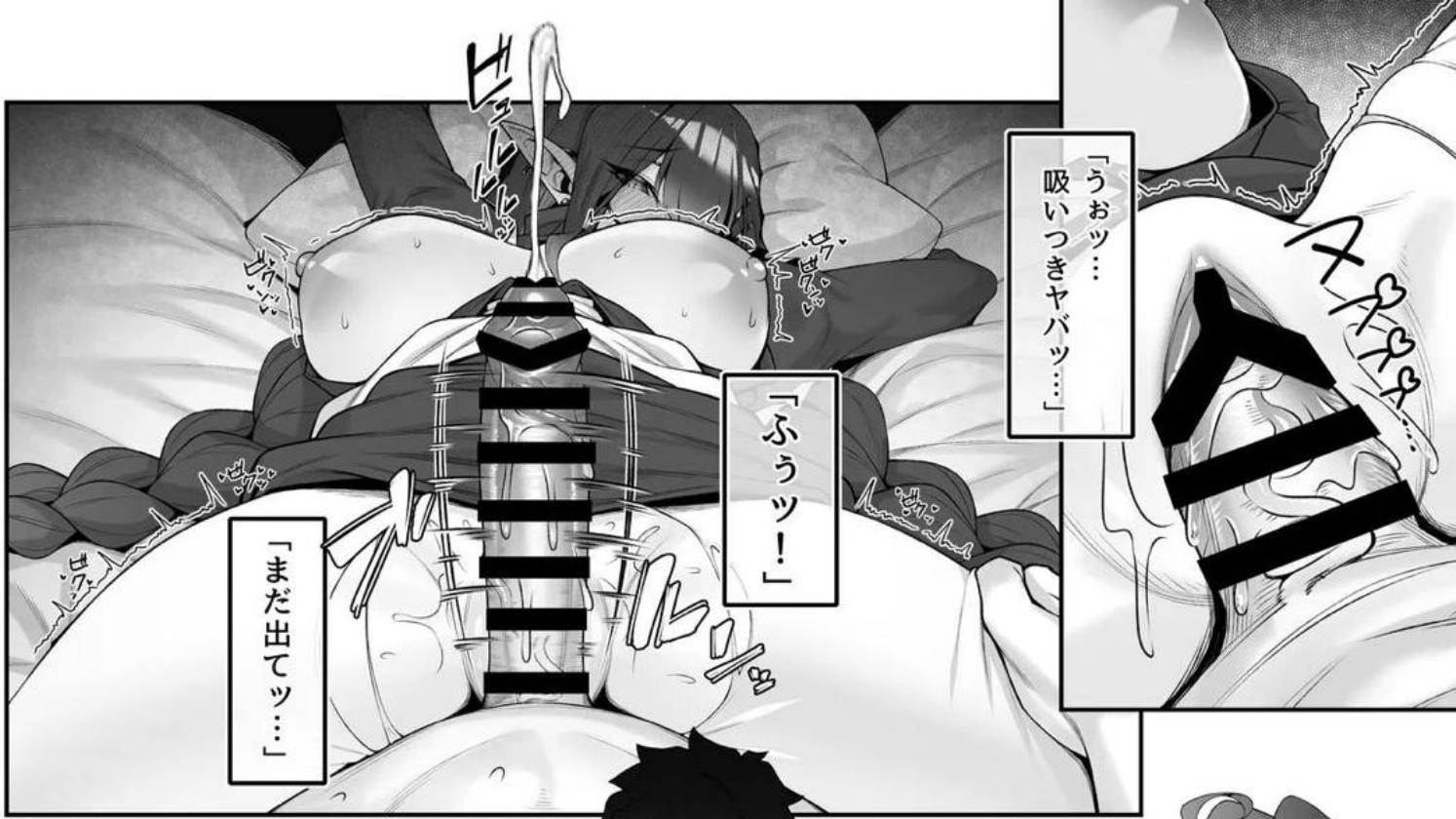
「奥突いてあげると
めちやくちや締まるッ」



「うおッ!?
外から刺激すると
もっと締まるッ」









休憩にするんですか…？

「そ…そのつもりッ…」

でも…
マスターさん
こっちのご主人様は
まだまだお元気の
ようですよ？

「ツ…！」



彼女は少し休憩が必要そうですし…

私にもお情け…
頂けないでしょうか♡

「！」



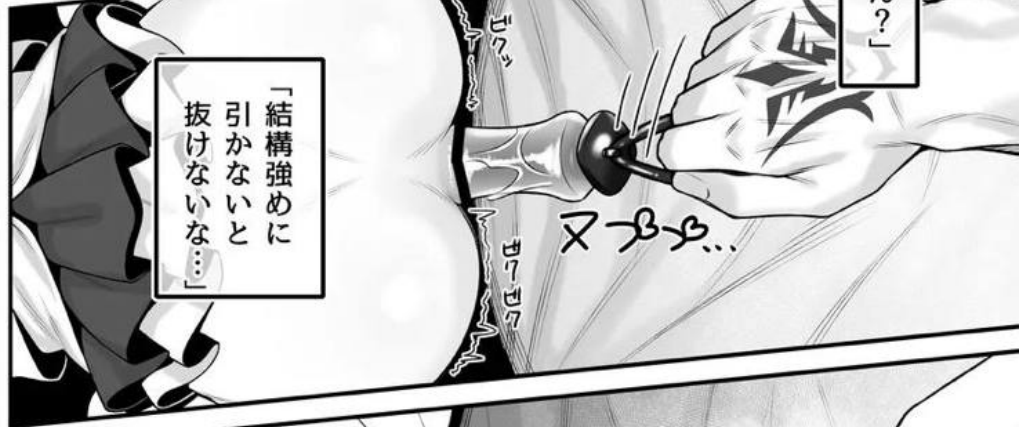
「じゃあ…
抜くよ？」



「準備ってこれの
ことだったのか…」



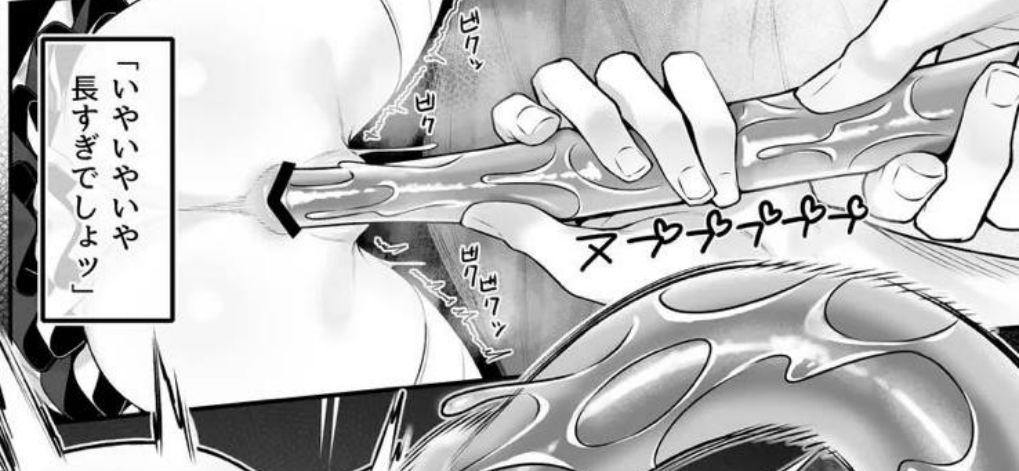
はあ



「結構強めに
引かないと
抜けないな…」



ほあ



「いやいやいや
長すぎでしょッ」



マスターさん
ご主人様♡

「生命の神秘を
感じちゃうな…」

「おお…これが
トネリコのアナルに…」









マスターさん精子熱いッ♡



「ぐっ……」



「さすがにもう『夜会』はお開きかな…」

「3連続はキッツ……」



もうお開きに
しちゃうんですか？

「復帰はやッ
つていやいやもう
出そうになくてですね…」

でも…

彼女まだ
マスターさん
ご主人様が
欲しいようですよ？

「へ？」



「バーヴァンシー？」

あっ♡

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ



※一旦繋がった理性の
糸が再度切れる音



「ドスケベッ!!」



「分かったッ
分かりましたよッ!」

「『夜会』はまだまだ
これからでしょッ!」

ふふ♡
その意気ですよ
マスターさん♡
ご主人様♡





あとがき

この度は「トネリコ&バーヴァンシーといろいろえっち本」
をお手に取っていただき、ありがとうございますッ！

今回はトネリコさんとバーヴァンシーの2キャラの本と
なっていますが…すいません、お手に取って貰いながら
こういうこと書くのもアレなんです…ぶっちゃけ分けて
本を作った方が良かったかもなあ…なんて思ったりします…。

あたり前なんですけど、やっぱりキャラが増えればその分1人に
割けるシチュエーションが減りますし、そもそも3P描きなれて
なくて、ちゃんと3Pしているページが少ないという…というか
後半の方に3Pのページがそこそこある予定ではあったものの、
いろいろ苦戦しまくって、時間がなかったので泣く泣くページ
削減する始末…これだったらトネリコさん(メイド服)と
バーヴァンシー(メイド服)ともに単体本にすれば良かった〜ッ…と
一人でモヤモヤしております…

こんなことを言っとりますが、お手に取ってくれた方々に少しでも
楽しんで頂けるような、後悔させないようなクオリティに仕上げて
いるつもりですので、何卒よろしくお願い申し上げます…！

…さて、ネガティブな事はここまでにしておき、FGOは終章に突入
してますね！え？わとすのFGO進捗？…実はまだミクトランなんだ！
…というわけで年末はFGOちゃんと進めます…

そんでもって次の本なんですけど…どうしましょ？
特に決まってないんですよ…3~4月のイベント向けにFGOキャラ
で本を作るか…はたまた夏コミに向けてオリジナル本を作ってみるか…
おそらくこの本の入稿が済んだらまたXに浮上していると思いますので、
そっちで何かしら言っているかもですね〜

毎度ながらながながとした後書きになりましたが、ここまで読んで
くださってありがとうございました！
そして、改めて「トネリコ&バーヴァンシーといろいろえっち本」を
お手に取っていただきありがとうございました！

また次のイベント会場か本のあとがきでお会いしましょう！ノシ



—奥付—

誌名: ぷりコ&バーヴァンシーといろいろえっち本

発行日: 2025年12月31日(コミックマーケット107)

サークル: わとちつぶめろんばん

発行者: わとす

印刷会社: サンライズパブリケーション株式会社 様

連絡先: E-mail: watosu.watosu@gmail.com

Pixiv ID: 37774114

X(旧Twitter): watosu_mama

《18歳未満の方々の閲覧、購入の禁止》

《無断転載、複製、配布の禁止》

Fate/Grand Order Fan Book
Presented By Watosu